

## 「知恵の広場」応援メッセージ

名古屋大学大学院環境学研究科・福和伸夫

様々な災害の中で、自らの意志を持って、被災者を支えてきたボランティアの方々に、改めて敬意を表します。災害発生時のボランティア活動を通して、減災の必要性を感じ取り、活動の範囲を、日頃の備えにまで広げつつある現状は、災害抑止に大きく貢献するものと思われまます。今後発生が予想される巨大災害での被害を抜本的に軽減しなければ、未来は明るくありません。これまで培った様々な知恵を共有し、実効ある備えの行動を推進しなければ、災害によって不幸になる人たちを再び作ってしまいます。実体験に基づく個々のボランティアの知恵を皆で出し合い、そして、その知恵を体系化し、活用できる知恵に翻訳しなおすことが必要です。そのためには、誰もが知恵を出したくなる雰囲気作りに加え、知恵の整理や、活用技術に関する知恵も必要になります。知恵比べ大会や、知恵を活かす知恵作りも必要です。ボランティアの力にも限りがあります。減災の思いを共有する人を増やすため、様々な組織の人たちと連携すると共に、あらゆる人がささやかな防災行動を始めるきっかけ作りが望まれます。そのためには、知恵を活かした地道な教育・啓発活動も肝要となります。「知恵の広場」が市民の減災行動の応援団になることを期待します。